

第20回 与謝野晶子短歌文学賞 青春の短歌

穂村弘 伊藤一彦 今野寿美 選

文部科学大臣賞

並べてたおはじき君が混ぜていくほらこの方がなんか落ち着く

大阪府・金蘭千里高等学校 谷口 真結香

きちんと並んでいるよりも混ぜている方が「落ち着く」という見方に新鮮さを覚えたのだろう。「おはじき」同様に、心もまたそうなのかもしれない。新しい世界を示してくれた「君」への思いが潜んでいるようだ。

青春の短歌賞 高校生の部

雪つぶて意中の人に多く投げその反応を見ている私

愛媛県立三島高等学校 大西 恵奈

遊びであり攻撃でもある「雪つぶて」が、遙かな愛の告白に繋がっている。そのくすぐったさと眩しさ。一方で、独特のクールさがあるとどこも面白い。「その反応を見ている私」を見ているもうひとりの私がいるのだ。

大阪府知事賞

友達とゆつくり歩く帰り道バイバイした後早くなる足

埼玉県入間市立東金子中学校 町田 優季

京都府知事賞

冬の夜寒さで凍り窓開かずお金払えぬ精算機前

兵庫県・クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス 片倉 美和

EH賞

暖房がききすぎているテスト中近くの窓に右頬つける

京都教育大学附属桃山中学校 榎 亮

堺歌人クラブ賞

あんぱんとしつこく言うの友達がだから私ははさみを向ける

大阪市立鶴見商業高等学校 井戸 幸代

与謝野晶子倶楽部賞

炎天下町中歩けば騒がしい流れる汗がひどく静かで

神戸市立六甲アイランド高等学校 岡田 まどか

菊池寛記念館賞

この季節こたつで眠る父と母そこに私もゆつくり入る

鹿児島市立谷山中学校 高田 麻美

日本ユネスコ協会連盟賞

外見れば手に手紙持つ女の子相手はどこにいるのだろうか

東京都・学習院女子中等科 平原 紀希

与謝野町長賞

3限の社会の時間腹が減る気をまぎらわすうどん描いてる

京都教育大学附属桃山中学校 澤井 栄華

奥出雲町長賞

テスト返し赤のインクが大暴れクラスの窓には結露が見えた

広島県立海田高等学校 柴崎 大輝

奥出雲町商工会長賞

あの子から借りた消しごむ返せずにいまだに使うあの子の消しごむ

福井県立武生高等学校 堀井 一志

三国路 与謝野晶子紀行文学館賞

少しだけ待つ人のことを考えて麦藁帽子をかぶり直した

群馬県立高崎北高等学校 河田 玲央奈

与謝野晶子ふるさと賞

新しい筆箱買うと目立ちますそんな日常友と過ごして

東京都・学習院女子中等科 向井山 綾乃

入選 中学生の部

うれしいな都会の街を歩いてるとティッシュがもらえる大人になった

東京都・学習院女子中等科 藤巻 美舞

教室のドアの目の前立ったとき中から伝わるあの暖かさ

東京都・学習院女子中等科 金山 怜奈

夕立ちの雨粒ひとり連れ去って鍵を回したコインロッカー

東京都・学習院女子中等科 山本 恵

降り積もる雪に倒れていざ挑む私もできる？ 幽体離脱

東京都・学習院女子中等科 内海 はるか

凧あげて笑う家族は影になり目に焼きついた冬の夕暮れ

東京都・学習院女子中等科 日暮 美緒

大晦日祖母のけいたいなり続く警察からのまちがえ電話

東京都・学習院女子中等科 谷本 優佳

霜降りて土にきらめく光ありザクザクふんで子供になった

東京都・学習院女子中等科 小倉 千和

幼き日つつむものなくひえきったゆびさきの色おもいだしたの

東京都・学習院女子中等科 田中 理子

冬の朝ゴジラのような息吐いて教科書揺らし僕は登校

東京都・駒場東邦中学校 進藤 吾朗

ストーブの前でパチンとスキー靴ドアを開ければ一面の雪

東京都・駒場東邦中学校 小園 湧輝

札幌は何体いるのか雪だるま鹿児島はゼロ雪すら降らない

鹿児島市立喜入中学校 川崎 義仁

年賀状送られてくるのは馬ばかりわが家のポストは競馬場

鹿児島市立喜入中学校 濱田 拓斗

クラス中えんぴつガリガリすごい音あせってしまっあせってしまっ

鹿児島市立喜入中学校 新原 琢己

大そうじほこりかぶったひき出しをあけたらコロリと赤いミニカー

京都教育大学附属桃山中学校 山田 章一朗

トンネルを抜けて車窓に映るのは光と海が重なるひととき

京都教育大学附属桃山中学校 小田島 瑛司

帰りぎわかばんをもちあげ外見れば葉からもれ出るまばゆい光

京都教育大学附属桃山中学校 國枝 舞

雪つもる街の中にはきらきらとつららが尖る輝きを見る

京都教育大学附属桃山中学校 坂下 雄基

六地藏閉店セールの本屋鳥獣戯画が八百五円

京都教育大学附属桃山中学校 仙波 成都

帰り道新しい道見つけたよそこにいたんだ真つ黒子ねこ

京都教育大学附属桃山中学校 舟川 あかり

心電計消して時間を確かめる泣き声だけが響く病室

京都教育大学附属桃山中学校 青山 那奈子

冬すぎて山かけおりのひきがえる暖かい日が山道照らす

北九州市立大谷中学校 久保 紘希

制服で外に出たなら明るくてまぶしい光が目飛びこんで

北九州市立大谷中学校 岩永 有未

冬の道たくさんの雪降りつもる鹿の足あといっぱいだ

京都府福知山市立夜久野中学校 田中 里奈

散歩中穴から出てきたねずみ見た珍しすぎて忘れられない

宮城県名取市立第二中学校 山田 梨央

音楽の授業中でも窓の外の他のクラスの気になる体育

宮城県名取市立第二中学校 今野 莉子

道端を散歩していた夏休み下を見てたら蛇の抜けがら

宮城県名取市立第二中学校 高橋 由樹

見たことない自分の姿があちこちに影にゆられる鏡の世界

広島市立楠那中学校 木村 凧沙

猫なでに外に出てみて気付いたよ冬の夜空に輝く星々

広島市立楠那中学校 山本 彩乃

もう一度聴いてみたいな曾祖母の少しはずした富士山の歌

東京都・星美学園中学校 宮路 真生

黒板消しやりだすともう止まらないまっさら緑にやってやる

東京都・星美学園中学校 大儀見 舞香

思い出す過ぎさりし日々の友情を太陽みたいに素敵だったから

東京都・星美学園中学校 細井 彩世

とけいさんチクタクとなる電池音その音にはね魅力があるよ

東京都・星美学園中学校 井上 小巻

だんだんと追いかけてくる波達はいろんな人と遊びたいのだ

鹿児島市立谷山中学校 吉住 由梨花

桜島いつもたくさん灰降らす私は思う生きてる証

鹿児島市立谷山中学校 都田 亜沙菜

ただいまと部屋に入ればあたたかいおばあちゃんちのストーブのにおい

鹿児島市立谷山中学校 徳永 朝恵

あなたから似合うと言われた色がある気付けばその色あふれてる

鹿児島市立谷山中学校 三反田 星来

どっちみち生きていくしかないだろう肉を食べてさみしさをかむ

鹿児島市立谷山中学校 是枝 直樹

めずらしく雪がふったこの町に久しぶりに雪だるまが帰ってきた

鹿児島市立谷山中学校 原口 芙美

支えてる太い柱に手のひらを重ねてみれば不思議な力

東京学芸大学附属小金井中学校 清水 はる香

仏像は時がたつても変わらない昔の人はどう感じたの

東京学芸大学附属小金井中学校 福田 ゆり

冬の空何処の場所も変わらない鉛のような色が広がる

東京学芸大学附属小金井中学校 稗田 亮

しも柱どんなどころにかくれても私が歩けばすぐみつかるよ

奈良県・帝塚山中学校 東田 理帆

節分に豆握りしめ鬼役に笑顔でまくが弟は泣く

奈良県・帝塚山中学校 福永 涼花

ぬれたシャツせんたく物にもうなくて来年また来るぬれたシャツ達

東京都江東区立深川第四中学校 川上 泰功

足元の咲いている花目に入る自分の全てと異なるように

埼玉県入間市立東金子中学校 瀬野 大輔

バクダット父が闘う激戦地バイク聞きたびポストへ急ぐ

埼玉県入間市立東金子中学校 高野 悠真

部屋の中ココアの香りしみわたる数式とけだし景色を変える

埼玉県入間市立東金子中学校 木村 薫

夜の空かすかに聞こえるジェット音見上げてみれば五つの光

兵庫県姫路市立飾磨中部中学校 稗田 淳之助

新緑の木々の隙間に光あり見つめた先に今を感じる

仙台市立広瀬中学校 澤田 樹

「うるさいな」そう言って君は笑ったね茜色の記憶を残して

群馬県みなかみ町立新治中学校 神保 恵理香

めずらしく降る雪をみた電車から降りやむまえに駅につきたい

京都光華中学校 中嶋 万日瑠

帰り道一人ぼつちの川沿いで月の明かりがまぶしく見えた

東京都・戸板中学校 久保 美月

眩しさの元を探して空を見るセミの声に空気がゆれた

東京都・戸板中学校 丹羽 沙耶花

さあ行こう玄関出ると白い息私より先かけだしている

広島県呉市立蒲刈中学校 荒谷 有稀

福袋の行列長くて嫌だけど獅子舞い訪れ得した気分

埼玉県小川町立櫛台中学校 土岐 和可奈

テスト中周りのみんなはサラサラ書き僕は必死にカチャカチャやってる

埼玉県小川町立櫛台中学校 今井 健

昼休みドッジボールで盛り上がり教室の中は静かな空気

埼玉県小川町立櫛台中学校 奈良 滯

部屋着を着て完全油断の冬休み郵便屋さんコートで対応

埼玉県小川町立櫛台中学校 櫻井 紗花

かけていく黄色い車が空の上青いハブラシあぶくをちらし

京都府・立命館宇治中学校 中嶋 哲平

帰り道空を見ればだんだんと日に日に空が落ち着いてゆく

広島県奥出雲町立仁多中学校 小笹 夏実

とある日の夕暮れ時に空を見る真紅の空と桃色雲と

広島県奥出雲町立仁多中学校 福田 龍生

入選 高校生の部

暖かい柑橘類の色見るとこたつに入って寝たいと思う

大阪府立泉陽高等学校 二坪 佑介

しんしんと降る雪ひとつなめてみた昔はもっと甘かったのに

京都府立嵯峨野高等学校 山本 雄大

僕のこと知らない祖母と友達になるため今日も病院へ行く

京都府立嵯峨野高等学校 山地 眞子

別れ際に会うのは年明けと手を振るけども歩き出せずに

京都府立嵯峨野高等学校 半田 夏菜

年明けたこたつで明けたもう明けたみかんの皮をむく間に明けた

京都府立嵯峨野高等学校 折原 菜月

じろじろと猫の見つめるその先をよく見てみるとたんぼぼの綿毛

京都府立嵯峨野高等学校 大内 彩輝子

昼過ぎて電車にのって街へゆくするべきことを見つけるために

大阪府立三国丘高等学校 戸間 翔伍

夕焼けに汚れた川でも照らされて今日は食べよう麻婆豆腐

大阪府立三国丘高等学校 松藤 恭平

世界中いつもまつすぐそびえ立つ白い素肌のソフトクリーム

大阪府立三国丘高等学校 山地 花穂

ハリネズミ木登りうまい本当の彼の名前はナミハリネズミ

大阪府立三国丘高等学校 石関 由紀花

放課後のひとりぼっちに風が吹くこの時だけは飾らない自分

東京都立府中高等学校 榊井 美結

声出して竹刀を振った稽古より記憶に残った足のつめたさ

東京都立府中高等学校 中谷 杜吉

お正月2つに増えた法名と3つに減った我が家の湯のみ

大阪市立鶴見商業高等学校 鎌田 未来

郊外の植木屋の広い庭の奥つつじの咲いてる五月の初め

東京都・星美学園高等学校 馬場 貴由実

字余りをしない努力はするけれど気付くといつもどこかが多い

広島県立海田高等学校 和田 渚

西日さし両手のシンバル輝いて降り注ぐ音旧体育館

広島県立海田高等学校 中廣 彩夏

冷える夜猫がこたつで寝ていたら足がたくさん寝ていられない

広島県立海田高等学校 岸本 祐輝

泣いたって虹はかかりはしないけど世界はくつきり見えてくるはず

広島県立海田高等学校 山根 佑介

キラキラと輝やくあなたの背番号いつしか8が好きになった

広島県立海田高等学校 佐野 晴菜

もち米がみんなのパワーでねばねばに大きなもちが今あふれでる

東京都・昭和女子大学附属昭和高等学校 高橋 玲衣

ゆれている気づけばいつもゆれているだれも私を止められない

香川県立高松西高等学校 奴賀 愛梨

冬休み焼いてみたけどこげたハム父と二人の朝の静けさ

福井県立武生高等学校 山越 理央

遠くへと行ってしまった友思いひとりピアノの黒鍵を弾く

福井県立武生高等学校 山本 真輔

ひたむきに白いチョウチョを追いかけて過去の私がまよい込む夢

福井県立武生高等学校 小澤 知佳

毎日の何気ない時間こわくなる溶けてなくなるような気がして

福井県立武生高等学校 岩田 真依

カモメ達夕日に向かってはばたいて飛んでる姿太陽のまゆげ

福井県立武生高等学校 内藤 元貴

坂みちを姉と一緒にのぼりきし紙の漉場の灯に照らされる^ひ

福井県立武生高等学校 山口 楓香

始まりの終わりを告げる鐘が鳴るつぎに鳴るのは終わりの始まり

福井県立武生高等学校 米野 竜唯

二階から父の雪かき姿見る家族の声がかすかに聞こえる

福井県立武生高等学校 野村 慶太

何だこれ床に一つの赤いネジ使う気がして捨てられなくて

福井県立武生高等学校 是広 拓哉

ラムネ飲むビンの底を天に向けた 空に大きな花が咲いてた

静岡県立磐田農業高等学校 鎌田 亜矢

星空に月明かり見る部屋の中繋がっているすべてのものが

愛媛県立三島高等学校 篠原 渚

沖縄の海ではしゃいで咳き込んだ口中に南の海は満ちて

埼玉県立桶川西高等学校 高橋 勇太

しゃぼん玉迷子のように空を舞うしっぽを振って食べようとする

沖縄県立小禄高等学校 新城 百合香

寝る前に目覚まし時計つけといて私は夢の中でそれけす

滋賀県立堅田高等学校 井上 美雪璃

親愛なる君に対する隠し事実は夕飯食べて来ました

東京都・文化学院 池田 大幾

年越しの寺はつまみと酒だらけ夜が更ければおやじが集う

東京都・文化学院 山本 遼

「お月様キレイだね」って言いたくて窓枠の中から月を見た

岐阜県立飛騨神岡高等学校 川上 このか

夢に見た蒼い葡萄を持つ人に寝ても覚めても会えないままで

埼玉県・星野高等学校 関根 ちな美

実験でなんか反応したときのきれいな青が私の青だ

大阪府・金蘭千里高等学校 本田 郁子

濁ってる親の白目はそれまでの苦労や努力を表している

大阪府・金蘭千里高等学校 長谷川 優樹

雪の日に引越しすると言った君心の中でハーモニカ吹く

大阪府・金蘭千里高等学校 吉川 英佑

コーヒーにミルクを入れてぐるぐると混ぜているのにまだまだ混ぜる

大阪府・金蘭千里高等学校 岩根 未奈

新品のコートを羽織り町に出て君を想えば早足になる

茨城県結城第二高等学校 砂見 美沙

風が吹き揺れるブランコ夕暮れのあなたのことをすきになりたい

群馬県立高崎北高等学校 関口 あかね

金平糖ちろりちろりと微笑んで硝子の中でただ君を待つ

神戸市立六甲アイランド高等学校 小林 希恵

夕暮れを海が静かに飲み込みて闇が広がる地平の彼方

大阪府立旭高等学校 久保 隆臣

真剣に反省する人その前にホットケーキの置かれた机

大阪府立旭高等学校 三宅 沙也加

亡き祖母の部屋のおいがしみついた私にあてた書きかけの手紙

大阪府立旭高等学校 名苗 由莉

宿題を放置すること一ヶ月そろそろ土に還ってるかな

東京都・戸板女子高等学校 佐藤 真維

コンビニのすりりんごジュースあの時のおたふくかぜとばあちゃんの手と

大分県立別府支援学校高等部 佐藤 慎一郎

一瞬でこの感情も閉じ込めるレンズの中と喉の手前に

新潟県立柏崎総合高等学校 杉本 琴美

試合から帰った私の顔を見て母が一言あつ負けた顔

京都府・立命館宇治高等学校 中淵 葵

6年間たくさん思い出できたなと指にからめるスカートのはつれ

京都府・立命館宇治高等学校 樽谷 蒼生

前髪を2センチ切るか3センチ切るか迷って4週間経つ

京都府・立命館宇治高等学校 竹山 奈津季

誕生日誰かを祝うその時にいつもは言えない事を言いたい

京都共栄学園高等学校 岩田 南

牛井を見ればあの子を思い出す一目ぼれした真冬のすき家

京都共栄学園高等学校 尾関 佐

網膜に残る光の筋だけで夏のあなたの帽子が見えます

京都女子高等学校 三輪 祐果

祖父の遺志継ぎたいけれど医学部も警戒区域の墓地も遠くて

秋田県立横手高等学校 後藤 のはら

薄氷を履むかのようにメールする あたしは赤い冬を生きてる

岐阜県立岐山高等学校 古田 海優